

## 情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 我が国のGIST（消化管間質腫瘍）治療におけるイマチニブ使用の実態に関する研究

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 森田達也（緩和支援治療科・医師）

[研究の概要]

■ 目的・方法

研究期間：2018年6月～西暦2022年3月31日

目的：本研究は、我が国における消化管間質腫瘍（ジスト：Gastrointestinal Stromal Tumor；以下GIST）診療におけるイマチニブの使用実態を把握することを目的とします。

方法：対象患者さんの2012年～2018年DPCデータを用いて、診療行為コードから各種治療（イマチニブ、スニチニブ、手術）を抽出し、各医療機関におけるGISTの診療実態（イマチニブの完遂率、スニチニブへの変更率、術後補助療法の施行率など）を分析していきます。

■ 対象となる患者さん

2012年度から2014年度の院内がん登録に登録されたGISTと診断された患者さん

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：院内がん登録およびDPCデータの情報（性別、診断名、診断年月、初回治療方針、施設名、入退院年月日、診療明細データ等）

■ 外部への試料・情報の提供

データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

■ 研究組織

研究全体の責任者：国立がん研究センター中央病院 西田俊朗

データ解析：がん臨床情報部の東尚弘、渡邊ともね、井上泉、榊原直喜、市瀬雄一、社会と健康研究センター石川ベンジャミン光一

研究に関する苦情や問い合わせの窓口：

国立がん研究センターがん対策情報センターがん臨床情報部 東尚弘

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

(様式 17)

研究番号	第 18-21
------	---------

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院  
森田達也・緩和支援治療科  
電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971